



光とかけ

2024/11/07

作成者：福丸直宏

秋晴れの気持ちがいい午後。廊下で日向ぼっこしている子ども達。「あったかーい」と声が聞こえ、一緒に廊下で寝転んでいるとウトウト眠くなってしまふほどでした。廊下に伸びる影も濃かったり薄かったり。この風景を何か遊びに行かせないかな？とひとまず「カラーセロハン」を出してみることにしました。子ども達は「え、何するの？」「ちょっと貸してー！」と声をかけてきます。しばらく任せて触っていると一人の男の子が「旗作る！」と。



勢いよく始まった「旗づくり」



旗づくりが始まりました。紙に貼っていったもののなかなかイメージ通りにならず、断念。今度は「傘に貼ろう」となり。ビニール傘にはることになりました。



ビニール傘にはみんなノリノリで春姿がありました。



ビニール傘に貼って影を楽しむ姿もあれば、カラーセロハンをそのまま覗いて見える世界の色の変化を楽しむ姿もあり、同じ素材・同じ空間でも楽しみ方感じ方は一人ひとり違いが見られます。

それぞれの子どもたちが感じるそれぞれのワクワクの世界を一緒になって共感し、違いを受け止め合いながら、その「時間と気持ち」を大切にしていきたいです。そのためにもこういった経験をたくさん重ねていきたいなと感じます。